

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2013.6.5 (No.2735) 週報 No.44

第2560地区ガバナー／鈴木重彦
会長 杉山幸英
会長エレクト／丸山行彦 (クラブ奉仕A)
副会長／高橋司 (クラブ奉仕B)
幹事／若槻八十彦
S A A／西山徳芳
会計／小出子恵出

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:57名中38名
- 先々週出席率:83.33%

【ゲスト】

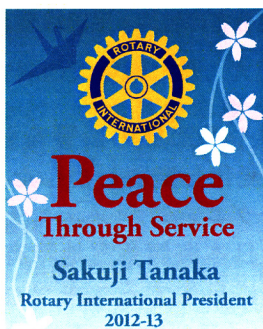
・NPO法人エコロジーネットワーク
理事長 片岡廣夫 様

【ビジター】

・米山奨学生 チャン・ナム・ソン君

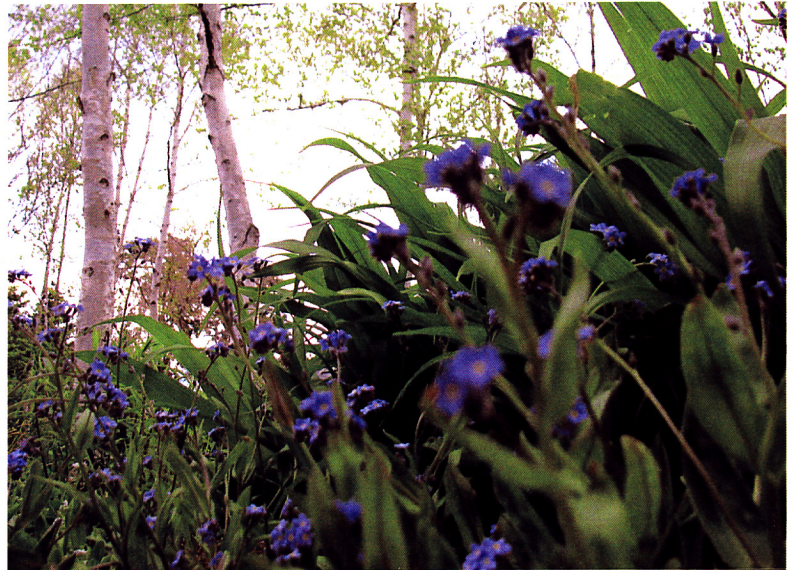
【先週のメイクアップ】

- [6.2] 新潟万代RC創立20周年式典へ
・杉山幸英さん、高橋 司さん
- [6.3] 三条南RCへ
・中林順一さん、五十嵐晋三さん、
・石橋育於さん、斎藤弘文さん、
・荻根澤隆雄さん、中村和彦さん、
・山田富義さん (7名)
- [6.4] 三条北RCへ
・荻根澤隆雄さん



「奉仕を通じて平和を」

2012～2013年度国際ロータリーのテーマ



荻根澤隆雄 会員より

会長挨拶

杉山幸英 会長



皆さんこんにちは、挨拶申し上げます。
NPO法人エコロジーネットワーク理事長
片岡様ようこそおいで下さいました。ごゆっ
くりお過ごしください。又、後ほど卓話を
宜しくお願い致します。

米山奨学生チャン・ナム・ソン君ようこ
そいらっしゃいました。専攻科目は勉学に
励み、日本国をよく観察し、もし母国に帰
られるなら、ベトナムと日本の友好のかけ

橋となって下さい。

本日より日本旅行の中林さんがおいでになりました。後
ほど紹介と挨拶をお願い致します。

昨日と一昨日(6/3と6/4)に家庭会合が開催されて活
発な意見交換が行われました。その後の懇親会で船越さんが
乾杯の発声をお願いしますと言って来られました。一瞬、エッ
と思いましたが、近年懇親会の乾杯は前会長で中締が前々会
長になっているようです。私もハイと良い返事を致しましたら、
船越さんは笑っておられました。もうそんな時期になったの
かと思いきや美味しいお酒を頂きました。二次会でふと、任期の
11/12は終わりましたが1/12は残っていると思ひ、残り1ヶ月
を恙無く務めようと思ひます。

本日は第一例会で多数の開催物が有りますので挨拶を終わ
ります。

幹事報告

若槻八十彦 幹事

◎三条RACより

「納会のご案内」

日時 6月20日(木) 19:30～

会場 越前屋ホテル

◎三条ライオンズクラブより

「第33回 8クラブゴルフ大会打合わせのご案内」

日時 6月26日(水) 18:30～

会場 饞心亭 お、乃

◎山崎ガバナーエレクト事務所より

「2013-14年度 インターアクト年次大会のご案内」

日時 7月14日(日)～15日(月・祝)

会場 月岡ニューホテル冠月

五十嵐昭一さん、若槻八十彦さん、山田富義さん、丸山行彦さん、明田川賢一さん、米山智哉さん、阿部吉弘さん、小出子恵出さん、船越正夫さん、会田二郎さん、金子俊郎さん、伊藤寛一さん
片岡廣夫様、本日は卓話ありがとうございます。
米山奨学生 チャン・ナム・ソン君を心より歓迎致します。

6月5日分 ￥ 28,000
今年度累計 ￥1,307,000

ニコニコBOX

杉山幸英さん

本日、新旧合同理事役員会が有りました。
NPOエコロジーネットワーク理事長 片岡様卓話有難う御座居ます。
米山奨学生 チャン・ナム・ソン君、ようこそおいで下さいました。

齋藤弘文さん

三条夏祭りの準備が始まりました。コメリ様、高儀様から大型のスターマインの協賛を快く受けていただきました。

関川 博さん

本日から奨学生のソン君がお世話になります。
一年間二人で成長したいと思います。

樺山 仁さん

次年度丸山号のフライト準備OKです。この青空の様に大きく飛び出しましょう。
本日の片岡さんの卓話に期待して。

内山 晃さん

今週末、梅雨のない北海道へ行って来ます。恵庭(エニワ)カントリー倶楽部で百たたきの刑にあっけます。

松永一義さん

日本サッカーばんざい。昨日、本田のPKを見まして感動でした。

高橋 司さん、近藤雄介さん、大沼公成さん、

小越憲泰さん、齋藤真澄さん

片岡廣夫様、本日は卓話ありがとうございます。
お話楽しみにしております。

「卓話」

「雪国の春の妖精たち」

NPO法人エコロジーネットワーク

理事長 片岡廣夫 様

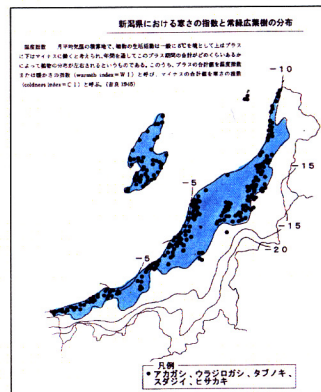
◆地域の環境特性

新潟県は暖温带(ヤブツバキクラス域)と冷温带(ブナクラス域)の植生が入り混じります。

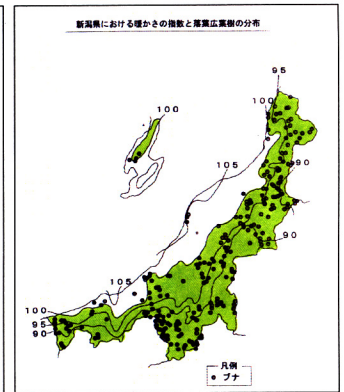
海岸から新潟平野の東南端の丘陵帯あたりまでは主に暖温带の植物が分布し、三条地域も、山手や山岳を除きその傾向にあります。



【暖温带の植物の分布】



【冷温带の植物の分布】



*新潟県の温量指数と植生分布の特性・平田俊彦より

◆雪国の植物

新潟の植物は、積雪や季節風の影響を強く受け、新潟の環境に適応して変化し定着しました。

県内にはユキ、ユキグニ、コシノ、エチゴ、ホクリクなどの名を冠した日本海側多雪地特有の植物が分布します。三条の山に自生するユキツバキ、ユキグニミツバツツジ、コシノコバイモ、エチゴルリソウ、ホクリクネコノメソウなどがそうです。雪国の植物は、太平洋側に多く分布する植物の変種が多いのです。積雪環境で生き抜くために、葉の大型化や変化、雪

圧に負けない幹のしなやかさ、雪折れしても再生する性質、雪で押し付けられた枝から根を出す能力、雪に埋もれた過湿環境への耐性などを身につけました。たとえば、ユキツバキ、エゾユズハ、ヒメアオキ、ハイイヌツゲ、マルバマンサクなどで、太平洋側にある狭山丘陵・トトロの森では見るできません。

◆**スプリング・エフェメラル (Spring ephemeral) の輝き**
雪国の山は春に花山に変わります。山が厳しい冬を乗り越えた喜びを謳歌しているようです。萌木が始まる前、林の下にカタクリやイチゲが一面に咲くシーンです。春の花山は多くの人を魅了し、弥彦・角田山塊や佐渡に、雪国の花を楽しむために全国から多くの愛好者が訪れます。

春の花山の主役は、スプリング・エフェメラルと呼ばれる一群の植物です。この呼び方は“春のはかない命・春の妖精”の意味で“春植物”とも呼ばれます。雪どけと共に花を咲かせ、夏までに葉を広げ、地下の貯蔵器官や種に栄養を蓄えます。約2ヶ月だけ地上に現れ、急いで繁殖行動を終わり、翌春まで地上部は枯れて姿を消してしまいます。

◆**里山異変**

現在、里山にはさまざまな変異が現れています。山林は放置され藪化し、薪炭林として伐採更新されないため太い木が育っています。うっそうとした林の下に陽が射さず、光のほしい野生ツツジなどの植物が衰退しています。

(ナラ枯れ)

昔の薪炭林は15年～20年で伐採更新されました。石油エネルギーに転換し50年ほど放置されたナラ林は、格好のカシノナガキクイムシの繁殖場になってしまいました。いわゆるナラ枯れの現象で拡大しています。古い木は樹液が少なく、キクイムシが卵を産むために穴を開けやすいのです。

(異常発生)

休耕田、放棄田が広がり、一時的に環境の多様性が増す現象も現れます。田の休耕初期には草丈が低い湿地の状態に移行します。そこにハッチョウトンボが一時的に大発生しました。

(野生動物の市街地接近)

奥山国有林の大規模伐採、人工林の拡大、林道の開発、酸性雨など、さまざまな事象が原因と思われる環境劣化が山に起こり、野生動物が市街地に接近して被害が発生しています。

(温暖化の傾向)

温暖化傾向の中、暖地性植物の勢力拡大、南方系植物の造園的移入などがあまって、それを幼虫が餌にする南方系の蝶の北進と定着が進んでいます。

モンキアゲハ (食草：ミカン科のカラスザンショウ)
アオスジアゲハ (食草：クスノキ科のシロダモ、タブ)

チャン ナム ソン TRAN NAM SON 君の紹介

米山奨学生カウンセラー 関川 博 会員
年



私事 本来であれば、経験を積んで実績のあるロータリアンがカウンセラーを行うところだと思いますが2013年度会長よりその名誉を拜命され、当初私などが出来る事であろうか？本当に私でよいのか？戸惑いました。しかも、歴史と伝統ある三条ロータリークラブに恥じない活動が出来るのか不安と戸惑いで一杯でした。しかし、次年度会長はじめ先輩方の温かいご助言に両腕を支えられた思いで、感激のスタートとなりました。そして、ソン君との出会い。「精一杯、自分らしくやってみよう」と誓ったあの日。常日頃、当社の社員には「初めから父親、母親の免許証などないから、子供から教わり子育てをして大人になるんだ。一番の人生教育は子育て。」と語っている自分自身がいることをしばし忘れておりました。次年度会長、幹事、米山奨学委員会の皆様そして、三条ロータリークラブ全会員の名に恥じないように精進いたします。

最後に、ソン君との出会いを与えて頂き心から感謝申し上げます。



プロフィール：

生年月日

1989年11月11日 23歳

出身地

ベトナム BA (バ) RIA (リア)
VUNG (ブン) TAU (タウ) 市

学 歴

2010年3月 ホーチミン工科大学電気電子情報工学課程
2010年4月 長岡技術科学大学 電気電子情報工学課程
2012年4月 同 同専攻課程 (大学院)

研究テーマ

日本のエコ技術に興味があり大学時代は「太陽光発電」を研究しました。大学院に進学し現在のテーマである「パルスパワー大気圧放電を用いた水処理技術」と出会う。

日本は水道水を飲める国では世界13カ国に属しそ

の処理技術は世界に誇るものである。水道事情の悪いベトナムで高度な処理技術を投入して「飲める水道水」を目指したい。

研究計画書抜粋

本研究では、水滴化した廃水を気中のパルス放電領域に噴霧し水を処理する。ストリーマ放電を発生させるためにSOSを用いた誘導性エネルギー蓄積方式のパルス電源を用いた。放電時に酸化力が強いオゾンとOHラジカルが発生するので、水中の難分解物質を処理可能となる。今までの研究成果として負荷電極に印加する最適なパルス電圧について調査しパルス幅を短く、立ち上がりを早くすることで1次ストリーマ形成時に電圧を切ることで処理効率を高めることを発見した。そして、パルス電圧の充電電圧、周波数、リアクタ中に流れる廃水の流量等が大きく影響することで今後高効率を目指す。

この研究で水道水を飲めないベトナムに生かせることを期待している。

将来ベトナムも日本のように安全な水道水を飲む国にするため研究を日々行い一歩一歩夢に近づく努力をいたします。

留学の動機

戦後の日本復興には多くの日本人が欧米で勉強し現在では世界最強の技術立国となった。



それに比べベトナムはいまだに発展途上国であることはなぜか？かつての日本の若者が世界で学んだように自分もその日本で学びたいと思った。そしてベトナムも日本と同じように先進国にしたいという夢を実現するために留学を希望した。

留学後

本来留学が目的ではなく、留学し学問を習得し日本の企業に就職して、日本のビジネスをしっかりと学び、ベトナムに戻ってから日本とベトナムの架け橋になり、更に日本とアジア諸国の友好関係を深める活動を行いたい。

ライフワーク

- ①大学のゼミに没頭して研究成果を上げる。
- ②ベトナムの恵まれない子供たちを支援する活動 (BETOAJI)

新潟支部長として、月に一度料理教室を通じベトナムの文化や食を知って頂いて、募金活動につなげて行く活動を行っています。

< 新会員紹介 >



氏 名 中 林 豊
会 社 名 (株)日本旅行 燕三条支店
役 職 名 支店長
住 所 三条市須頃2-121

次週例会 6月19日 「一年を振り返って」
杉山幸英 会長・若槻八十彦 幹事

次々週例会 6月26日 夜例会「会長幹事慰労会」
18:30~ 於 二洲楼

